

**事業名**

養護施設運営事業：ニュー・チャイルド・ケア・センター

**事業分類**

被災地・紛争地における自立・復興支援

**活動理由**

孤児、あるいは孤児に準ずる子ども(両親や親戚が養育できない状態に陥った子ども)が安心して生活できる環境で養育を受け自立できるよう物心両面から支援し、良き市民としてカンボジアを担っていく人材を育成する。

**場所:** シェムリアップ州タックヴェル郡チェイ村

**子どもの数:** 16名 (2019年3月31日現在)

**NCCC子どもの状況**

子ども達の日常生活は「笑い」があり、元気に毎日を過ごしている。そのような中、今年度はスライニット(高校2年生)が岡山学芸館高校に8月から1年間、留学をしている。また、スライニットとスライホームが日本語能力試験N4に合格した。このような年長者の努力の成果を目の当たりにすることができ、他の子ども達にも良い刺激となって少しずつ学校の成績も上がってきている。一人の社会人として自立生活ができるように、今後とも支援をしていきたい。今年度から子ども達の「里帰り」を、お正月(4月)と盂蘭盆(10月)の年2回とした。子ども達・保護者とともども、ひと時の肉親の愛情にひたることができ、大変喜んでくれた。今年度最後の3月31日(日)、クメール山に遠足に行き山頂にある大きな涅槃仏を詣で、その後、滝で水遊びを楽しんだ。



新洗濯干し場

特筆すべきは、皆様のご寄付により、10年を迎える施設の全面改修工事(女子棟・男子棟・台所・トイレ・シャワールーム・水タンク・洗濯場等)が行えた。この改修により、子ども達の生活空間はより安全で衛生的な場所となり、ゆっくりと過ごせる生活の場となった。

**教育**

・**日本語教育:** チェイ小のHG日本語教室に、小学生が週5日(月-金)出席。中学生・高校生は週5日(日-木)ニュー・チャイルド・ケアセンター(NCCC)の日本語教室で学び、高校生2名は、4月から9月までシェムリアップ事務所で実施しているBBU日本語講座分室で大学生と共に日本語を学んできた。この高校生がN4合格を果たした2名である。このようにNCCCの子ども達の日本語能力は徐々にではあるが成果が表れている。



絵画教育

・**アプサラダンス(クメール伝統舞踊):** カンボジアの伝統に触れるため、毎週日曜日の午前中に2時間習っており、センター訪問者に踊りを披露してきた。最近では子ども達が自主的に練習をしている。

・**絵画教室:** 昨年同様、月2回(土曜日午後)、「小さな美術スクール」(主宰者・笠原知子先生)で、絵画教室に通う。先生のご指導の下、子ども達のデザインによるTシャツを作成。

**歯科検診と歯磨きの習慣**

12月に、TAO(東洋医学研究会)の歯科医の先生方に、歯科検診と虫歯予防教育を実施していただいた。4年前から始まったこの活動により、子ども達には毎日の歯磨きの習慣が付き、虫歯が減ってきている。

**畑での野菜の収穫**

今年も、スタッフのタイリーが中心となって雨季に畑作を行い、少ないながらも野菜が収穫できた(空芯菜、インゲンなど)。子ども達は畑仕事を手伝うことで農作業の大変さや収穫の喜びを学んでいる。

**日本との交流**

8月の岡山学芸館高校(SGH 指定校)の来訪を始まりとして、9月には神戸学院大学、ノートルダム清心女子大学、名桜大学、島根大学、11月には四天王寺大学の学生および623塾・山根氏他が来訪。さらに12月に入るとHGスタディツアー、学芸館高校・清秀中学の生徒、1月には岡山市第三藤田小学校とのスカイプ会議等、多くの交流があった。子ども達は、日本との交流を通して、日本への理解が深まり、徐々にではあるが「受ける」感謝の気持ちと同時に、日本に行きたい気持ちが強くなっている。

**次年度の実施計画**

引き続き子ども達の主体性を尊重し、子ども達各自が現実に即した将来設計を考える力を養いたいと考え、社会科見学などを取り入れていく。その結果、これまで漠然としていた夢が、「病気の人を助けたいからお医者さん」「教えることが好きだから先生」「料理を作るのが好きだからコックさん」等、具体的な目標に変化してきている。

**支援・協力団体**

(株)翌檜、アニモの会、アリモリカップマラソン、岡山学芸館 SGH・清秀中学校、岡山せとうちライオンズクラブ、岡山市立第三藤田小学校、同曾根小学校、きずなの会有志一同、協力小・中・高・大学、高野山真言宗南真会、HGスタディツアー、大光電機(株)、TAO(東洋医学研究会)、ハート・ペアレント、(株)パンネーションズ・コンサルティング・グループ